

18春闘勝利！3・6国労総行動を開催！



本部は、3月6日、「2018 春闘勝利、3.6 国労中央行動」を展開しました。

午前中は、各政党及び衆参国土交通委員に対して、JR 発足 30 年が経過しても、未だに経営状況が脆弱な JR 三島および貨物に対し、国からの抜本的な恒久的支援や JR 各社の安全対策等について要請行動を行いました。

午後より、代々木公園野外ステージに於いて「国労中央総決起集会」を開催し、開会挨拶・主催者挨拶・来賓挨拶に続き、北海道・東日本・東海・西日本・四国・九州各エリア本部及び貨物の代表者からそれぞれ決意表明が述べられました。

総決起集会終了後直ちに新宿駅までのデモ行進並びに宣伝行動を取り組み、中央総行動を行う青年・女性部・家族会の合流や JR 旅客・貨物から多くの仲間が結集し一日行動を行いました。

12,000円獲得に向け、400名が新宿に結集！

JR貨物本社に対し、シュプレヒコール！貨物本社へ要請書を集中しよう！

各政党及び衆・参国土交通委員への貨物からの具体的な要請では「経営を圧迫している現行のアボイダブルコストの算定ルール見直しを含め、貨物会社が成り立つ仕組みを前提とした線路使用料は、国の責任で確立すること」を求め、要請行動を行いました。

集会では貨物代表で挨拶に立った木村事務長からは「今春闘での賃上げは待ったなしの現状であり、生活改善を何としても勝ち取らなければならない。」など、全国貨物協議会として更なる交渉強化とともに、19年連続「ベア・ゼロ」の打破！有額回答の実現に向けて先頭に立ち奮闘する決意が述べられました。

デモ行進では、貨物本社前において「新賃金引上げ」とともに「労働条件改善」を求め、繰り返し、シュプレヒコールを行い、解散地点では団結ガンバローで決意を固め合い終了しました。